

平成20年4月1日  
住友生命保険相互会社

## 平成20年度入社式 社長あいさつ（抜粋）

住友生命保険相互会社（社長 佐藤義雄）は343名（総合職員182名、一般職員161名）の新入職員を迎え、4月1日に入社式を行いました。以下に社長あいさつの要旨を紹介します。

### スミセイ新世紀の経営ビジョン

今年は住友生命の創業101年目、新世紀入りの時であり、新しい長期経営計画「スミセイ新世紀ビジョン」がスタートする年でもある。生命保険業界を取り巻く環境変化のスピードとスケールは凄まじいものがあるが、当社は変化に強い会社であり、この激動する変化の時こそ飛躍するチャンスである。

「スミセイ新世紀ビジョン」は、「新たな成長路線」と「品質経営」を確立することで、世界で戦える一流の保険会社を目指すという意思表示である。主軸の営業職員体制を最優のレベルに再生するとともに、最新のビジネスモデルを創造し続ける。そして最高水準のサービスを実現する。この目標に向かって当社はこれからもどんどん変化し続けていく。

### 皆さんへの期待 ～「未来をつくる人」「凜とした人」「心に火をつける人」～

一つ目は、「未来をつくる人」になってほしい。お客さま、従業員、会社それぞれにとってのゆたかな未来をつくるために、未来志向の仕事をしてほしい。現状に埋没せず、未来のビジネスチャンス切り拓くために何が必要か考え、自ら実行してほしい。

二つ目は、「凜とした人」になってほしい。この意味は、倫理観をもって正しいことを貫く人であり、横並びを廃し、過去にとらわれずに、毅然としてあるべき姿を追い求める人。そんなパイオニア精神を持った自立した人を目指してほしい。

三つ目は、「心に火をつける人」になってほしい。自分の心に自分で火をつけ続ける。同時に、相手のことを思いやり、コミュニケーションと対話に基づいた仕事、率先垂範で自ら行動する仕事をひたむきに実行している人は周りの人達の心にも火を灯すことができる。

30年以上前、私自身の入社式の時に頭の中にビートルズの「the long and winding road」が鳴り響いていたことを思い出す。これから、長く曲がりくねった道（the long and winding road）かもしれない。しかし、‘the long and winding road that leads to your door will never disappear’ という歌詞のように、your door、つまり、目標に向かって信じる道をひたむきに進んでほしい。そうすれば、会社は必ず皆さんを応援する。一緒にいい会社をつくろう。

以上